

科目名称	臨床看護実践と総合評価	学年学期	単位数	時間数
		3 学年後期	1	15
担当教員	福田 栄江	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】授業概要

対象の状況に基づき安全の確認・確保と、優先順位を考えた問題解決方法など、対象の要件・状況判断を含めた総合的な看護技術が提供できる。

【2】学習目標

1. 複数の事例をチームで担当し、優先順位を考えた行動計画が立案できる。
2. チームメンバーと協力しながら、対象の状況に応じた安全で安楽な看護援助が実施できる。
3. 実施した援助が適切であったか評価ができる。
4. 自分の行動特性を理解し、改善点に気がつくことができる。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	オリエンテーション	講義・演習
2	多重課題とタイムマネジメント	講義
3	シナリオ患者の理解	講義・演習
4	演習(1回目)	演習
5	演習(2回目)	演習
6	OSCE 実施	実技試験
7		
8	リフレクション	講義

【5】評価方法

課題 15 点、提出物 15 点、実技 70 点(42 点未満は実技の再試験) により総合的に評価する。

【6】教科書

教科書は使用しない

【7】参考書

成人看護学教科書(器官系統別)

茂野香おる:系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[1] 基礎看護学概論(第 17 版) 医学書院 2024

中村恵子:看護 OSCE メヂカルフレンド社 2011

大滝純司:OSCE の理論と実際 篠原出版社 2007

下条文武:事例で学ぶ OSCE 基本臨床技能試験のコアスキル 西村書店 2004.

ヘレン・ウォード:高度看護 OSCEー 高度な臨床スキル評価成功へのガイド, へるす出版 2014

【8】受講生へのメッセージ

3 年間の学びの集大成となるように学習しましょう。